

現在の著作は主に個人ホームページ（生き物の文明への黙示録）に掲載しており、印刷していない。『環境学習原論—人世の核心』（2019）、『雑穀の民族植物学—インド亜大陸の農山村から』（順次公開中）、『日本雑穀のむら』（順次公開中）、『第四紀植物』（準備中非公開）、“Essentials of Ethnobotany,”（in preparation）。ほかのペンネームで書いているエッセイなどの文章は記載していない。

2019

木俣美樹男 2019、巻頭言、商品ではない任意無償性への敬意、民族植物学ノオト第 12 号：1。

木俣美樹男 2019、先真文明時代への覚書 5. 文明の野蛮へ退行、民族植物学ノオト第 12 号：17-36。

木俣美樹男 2019、自分で日本国憲法を考える 3. 民族植物学の視点から憲法に環境原則を加える提案のゆくえ、民族植物学ノオト第 12 号：37-57。

木俣美樹男 2019、雑穀は世界を救う、自然栽培：20-28。

2018

木俣美樹男 2018、巻頭言、解きたい謎—西暦第 2 千年紀に生きる、民族植物学ノオト第 11 号：1。

木俣美樹男 2018、九州・沖縄地方における雑穀農耕文化複合、民族植物学ノオト第 11 号：7-50。

木俣美樹男 2018、自分で日本国憲法を考える、第 2 報 憲法に書き加える環境原則、民族植物学ノオト第 11 号：51-55。

木俣美樹男 2018、信仰の個人主義を探る—発端：科学への妄信を越えるために、民族植物学ノオト第 11 号：56-62。

木俣美樹男ほか 2018、シンポジウム報告；憲法に環境（持続性）原則の導入を～改憲論議は 9 条問題だけではない、環境と文明 26（12）：4-10。

2017

木俣美樹男（監修）2017、こどもかんきょう絵じてん、三省堂、東京。

木俣美樹男 2017、インドにおけるカリフ農耕文化の構成要素である雑穀の栽培化過程と伝播、南アジア学会（東京）。

木俣美樹男 2017、焼畑の作物、特に雑穀の栽培方法と現代的価値、椎葉焼畑研究会。

木俣美樹男 2017、タネは誰が守るの？種子法の廃止を受けて、では何が出来るか、日本パーマカルチャー・センター。

木俣美樹男 2017、巻頭言、生活世界の平安保守、民族植物学ノオト第 10 号：1。

木俣美樹男 2017、欧米の雑穀見聞録、民族植物学ノオト第 10 号：58-61。

木俣美樹男 2017、自分で日本国憲法を考える、民族植物学ノオト第 10 号：62-107。

木俣美樹男 2017、学習生態および思考形態とこのくにの過誤、環境と文明 25（10）：8-9。

2016

- 木俣美樹男、2016、巻頭言 多様な生活文化の中の雑穀（特集）、民族植物学ノオト 9: 1.
- Kimata Mikio 2016, Domestication process and linguistic differentiation of millets in the Indian subcontinent, Ethnobotanical Notes 9: 12-24.
- Kimata Mikio 2016, Tertiary domestication process of korati, *Setaria pumila* (Poaceae) through the mimicry to other grain crops in the Indian Subcontinent, Ethnobotanical Notes 9: 25-38.
- Kimata Mikio 2016, Domestication process of korati, *Setaria pumila* (Poaceae), in the Indian subcontinent on the basis of cluster analysis of morphological characteristics and AFLP markers, Ethnobotanical Notes 9: 39-51.
- Kimata Mikio 2016, Domestication and dispersal of *Panicum miliaceum* L. (Poaceae) in Eurasia, Ethnobotanical Notes 9: 52-65.
- Kimata, M., Y. Ishikawa, H. Kagami, A. Otsubo and K. Otsuka 2016, Agricultural complex of millets in the Indian subcontinent, Ethnobotanical Notes 9: 2-11.
- 木俣美樹男、2016、嗜好品、植物学の百科事典、724-725、丸善、東京。

2015

- 木俣美樹男、2015、巻頭言—新しがりの病を治して、再び人が生きる道の復興 renaissance へ、民族植物学ノオト 8: 1.
- 木俣美樹男、2015、生きるという任意・自律的な営為を動かす心情の省察、民族植物学ノオト 8: 23-66.

2014

- 木俣美樹男、2014、ホームガーデンによる生物文化多様性保全と家族食料安全保障—特集 にあたって、調査研究の概要と趣旨—、環境教育学研究 23 : 19-30.
- 木俣美樹男、2014、岩手県の雑穀栽培と家族・地域の食料安全保障、環境教育学研究 23 : 103-130.
- 木俣美樹男、2014、教科『環境科』の予備的検討、環境教育 24 (1) : 150-159.
- 木俣美樹男、2014、生涯にわたる環境学習過程の構造—環境学習原論の構築に向けて—、環境教育 24 (2) : 1-14.
- 木俣美樹男、2014、植物と人々とのかわりの文化誌—学問としての民族植物学、クリンネス通巻 344 : 2-7. イカリ環境事業グループ、東京。
- 木俣美樹男、2014、子どもたちへの環境教育①冒険の日々、クリンネス通巻 346 : 16.
- 木俣美樹男、2014、子どもたちへの環境教育②農学校の今日、クリンネス通巻 347 : 12.
- 木俣美樹男、2014、子どもたちへの環境教育③彩色園の生物文化多様性、クリンネス通巻 349 : 26.
- 木俣美樹男、2014、4.6 生物季節から生物文化多様性へ、山下脩二・樋口利彦・吉富友恭 編、環境の学習と観測にもとづいたグローブプログラムの理論と実践—学校における観測 活動

から地球と地域の環境を考える—、149-155、古今書院、東京。

木俣美樹男、2014、巻頭言：ひとを評価する教養と専門性：、民族植物学ノオト 7: 1.

木俣美樹男、2014、先真文明時代への覚書：、民族植物学ノオト 7: 29-37.

木俣美樹男、2014、自らを問う — 事例 0 を伴う付録資料：、民族植物学ノオト 7:38-47.

木俣美樹男、2014、付録 1. 東京学芸大学民族植物学研究室が関わる国内外の学術調査の記録：、民族植物学ノオト 7: 48. 木俣美樹男、2014、付録 2. 東京学芸大学民族植物学研究室が関わる卒業論文、修士論文、博士論文の記録、民族植物学ノオト 7: 49-52.

木俣美樹男、2014、未来のための伝統的知識の再創作、中山間地に残る伝統的知識による地域活性化に関する調査研究報告書「伝統知の現代的価値を求めて Traditional Knowledge」、p. 8、緑と水の森林ファンド事業助成、ECOPLUS。

木俣美樹男、2014、地域あるいは場での環境学習の意義—職場と仕事、学校と家庭・地域、学びと仕事、p. 33-40、高野孝子編著「PBE 地域に根ざした教育、持続可能な社会づくりの試み」、海象社、東京。

木俣美樹男、2014、若手研究者へのメッセージ—動き、考え、読み、書く—環境教育学の論文を書くということ、日本環境教育学会若手学会員の集い（2014. 8. 1、法政大学、東京）。